

平成 25 年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(原耕地、宿、斑目)

開催日時	平成 25 年 9 月 5 日 (木) 午後 7 時から午後 9 時	天気 晴れ
場所	岸集会所	
町民参加者	男 18 人 女 2 人 (40 代以下 1 人、50 代 2 人、60 代以上 17 人)	
町出席者	町長、副町長、教育長、企画財政課長、総務防災課長、環境農林課長、商工観光課長、都市整備課長、事務局 2 人	

出席者から出された主な意見や提案

《テーマ：丸山の将来像について》

○丸山に企業が進出することとなり、山頂では整地等が進められる。排水量も増えるため、排水量の調査を行い、コルゲート管などの定期検査もしていただきたい。

○新たに丸山に進出する企業について、町民が誤解を招かないように、資料などで企業のアピールしたほうがよい。また、既にある企業についても、町民に向けて紹介することで、若者が町内企業に魅力を感じ、就職先を町内に求めることも考えられる。

○丸山は、高速道路で東京方面から来ると最初に目立つ山である。もっと山北町を宣伝できるような山にすることはできないか。

《テーマ：町はどのような災害を想定した防災計画を策定しているのか》

○岸地区内には食糧品製造会社、飲料水製造会社、豆腐製造会社等大きな製造会社が揃っている。食糧や水などをそれぞれの企業に提供してもらうなど、町と企業が一緒になって災害時対応を行うという考えはないか。

○岸地区の避難場所である川村小学校に、岸地区の人たちが 3 日間過ごせるだけの食糧の備蓄があるのか。

○町は井戸水の活用を災害時の有効手段として考えているようだが、地震により地下水の流れが変わり、飲用可能であった水質が変わることも考えられる。企業にペットボトルでの確保を求め、町、企業、町民が一体となって対応していくべきではないか。

《テーマ：その他》

○宿の川西屋上より東光院に抜ける町道は小学生の通学路となっている。狭いので朝の通学時間帯は車両進入禁止となっているが、車両の進入が見られる。地域でも注意を払っているが、警察にも注意喚起を行うようお願いできないか。

○殆どの町民は河村城址の現況を知らず、標示、標識も無いので、分からない。町が将来的に道路を含めてどのように整備を進めていくのか、簡易的な案内版で構わないので設置すべきではないか。

○高齢者の方は、年金や健康保険税の負担額増加、生活・健康についてなど様々な不安を抱えている。町は、企業進出などにより税収が増えたら、高齢者が安心して過ごせるように福祉関係に使っていただきたい。例えば、紙おむつの支給事業だが、一人月 100 枚は必要なのに、現在の制度では到底数が足りない。

○夏休みは、どこの家でも子ども夫婦が家族を連れて実家に帰っていた。せっかく山北町に戻ってきたのに花火を上げる場所がない。公園は火気厳禁であり、どこで花火をすることができないか。例えば、ぐみの木公園の一部区画を打ち上げ可能区域に設置することはできないか。